

明石市環境審議会 自然環境部会（第 12 回）報告

日時：平成 24 年 9 月 26 日（水）14 時 00 分～15 時 53 分

場所：明石市生涯学習センター 学習室 1 A

出席：自然部会員 6 名、小幡副会長、事務局 4 名、日本ミクニヤ(株)菊川氏 計 12 名

1. 平成 23 年度 自然環境調査等の報告について

◆「明石川及び兵庫県立明石公園 生物・生態系調査」報告

（日本ミクニヤ(株)菊川氏より報告）

- ・明石川の魚類を調査

（魚類）7 目 12 科 25 種を確認。

内、貴重種 2 種、特定外来生物 2 種、要注意外来生物 2 種を確認。

- ・明石公園の鳥類・魚類・哺乳類・両生類・爬虫類・植物類・昆虫類を調査

（鳥類）11 目 24 科 42 種を確認

内、貴重種 8 種を確認。

（魚類）3 目 5 科 6 種を確認。

内、特定外来生物 1 種、要注意外来生物 1 種を確認。

（両生類・爬虫類）3 目 7 科 8 種を確認。

内、特定外来生物 1 種、要注意外来生物 1 種を確認。

（哺乳類）確認なし

（植物）4 綱 79 科 210 種を確認。

内、特定外来生物 2 種を確認。

◆「外来種生息域実態調査」報告

（調査は、NPO 法人日本ウミガメ協議会が実施）

- ・明石市内 33 ヶ所のため池にて、カメの捕獲調査を実施。
- ・調査方法・・・カメ捕獲専用あみを使用。1 つの池に 3 か所ずつ夕方に設置し、翌朝回収し、記録。
- ・ミシシippアカミミガメについては、須磨海浜水族園内「亀楽園」に収容し、他種はその場で放流。
- ・捕獲個体数は、539（内訳：ミシシippアカミミガメ＝374（69.4%）、クサガメ＝163（30.2%）、スッポン＝2（0.4%）>

2. 平成 24 年度 自然環境調査等の実施について

◆「明石川及び明石市内ため池群 生物・生態系調査」中間報告

(調査は、キタイ設計(株)西日本支社が実施)

・調査期間は 6 月～12 月の間

(1) 明石川の水生昆虫・植物を調査

(水生昆虫) 8 種 41 個体を確認 (貴重種なし)。

その他、調査時に「水生生物」の貴重種 6 種、特定外来生物 1 種を含む 30 種を確認。

(植 物) 139 種 (在来種 73 種、外来種 66 種) を確認。

内、貴重種 3 種と特定外来生物 2 種、要注意外来生物 17 種を確認。

(2) 市内ため池群の植物・鳥類・魚類・水生昆虫類を調査

・調査池は、上池 (大久保町松陰新田)、請池 (大久保町八木)、納戸池 (大久保町西島) の 3 か所。

(植 物) 3 池で 118 種 (在来種 84 種、外来種 34 種) を確認。

内、貴重種 3 種、要注意外来生物 15 種を確認 (7 月 26 日調査分)。

※一部、誤同定等があったため、再調査中。

(鳥 類) 3 池で 33 種確認。内、貴重種 3 種を確認。(7 月 9 日調査分)

(魚 類) 3 池で 5 種 95 個体を確認。貴重種なし。

内、特定外来生物 2 種 (92 個体)、要注意外来生物 1 種 (1 個体) を確認。

(水生昆虫) 3 池で 15 種 146 個体を確認。貴重種、特定外来生物は確認なし。

(3) 市内ため池群の植物、及び鳥類については、冬季 (11～12 月) の間に、2 回目の調査を実施予定。

◆「ミシシippアカミミガメ生息域実態調査」中間報告

(調査は、NPO 法人日本ウミガメ協議会が実施)

・喧嘩池 (大久保町大窪)・北浦池 (魚住町金ヶ崎)・上池 (大久保町西島)・皿池 (二見町福里) の 4 か所のため池にて、カメ捕獲専用定置網を 6 月～12 月にかけて設置し、捕獲調査を実施中。

・ミシシippアカミミガメについては、須磨海浜水族園内「亀樂園」に収容し、他種はその場で放流。

・ミシシippアカミミガメ捕獲個体数の推移 (調査開始当初)

・喧嘩池：6 月 26 日 = 49 ⇒ 7 月 1 日 = 10

・北浦池：6 月 26 日 = 20 ⇒ 7 月 1 日 = 1

・皿 池：7 月 18 日 = 63 ⇒ 7 月 31 日 = 8

・上 池：7 月 18 日 = 42 ⇒ 7 月 31 日 = 7

3. 「生物多様性あかし戦略」について

◆ 「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」の取り組み状況について、事務局より報告。

①「水と緑のネットワークづくり

- ・ため池クリーンキャンペーンの実施
- ・金ヶ崎公園里山整備
- ・壁面緑化（グリーンカーテン）の普及啓発 等

②「まとまりのある生きものの生息・生育地を保全していくために」

- ・オニバス観察会の実施
- ・アカウミガメ保護関連事業
- ・河川美化事業 等

③「生物多様性から受ける恵みの持続可能な利用のために」

- ・里（農業者）と海（漁業者）の協働プロジェクトの推進
- ・あかし食育フェスティバルの開催
- ・学校給食における地産池消の推進 等

④「学び・守り・育てる仕組みづくりをしていくために」

- ・ブルーツアーの実施
- ・環境&消費者フェアの開催
- ・市内小、中学生を対象に環境体験学習の実施
- ・生物多様性戦略についての講義 等

⇒ 「生物多様性あかし戦略」の基本方針に基づき、それぞれの地域での活動方針や活動計画について協議する場（生物多様性あかし戦略推進会議）の設置を図ります。